

謹賀新年

昭和52年 元旦



愛媛県神道青年会々報

第5号

昭和51年1月1日

発行

〒790 松山市道後
173 社庁内会
松谷町 神道青年会
愛媛県神道
0899-21-9875

年頭の御挨拶

愛媛県神道青年会

会長 十亀 興美

あけましておめでとうございます。

昭和五十二年の新春をお祝い申し上げ、皇室の弥栄と、国内外の平和と繁栄を心より祈念いたします。昨年は天皇陛下御在位五十年の奉祝行事が政府主催により国家行事として行なわれ、全国民の祝福を受けられたことは感激のいたりであり、聖寿の益々の弥栄を祈るものであります。

今日の社会情勢は、昨年のロッキード問題による国政の混乱、又経済界は不況等のダブルパンチは国民に大きな不安とショックを与え、政治不信が先の衆議員選挙に反映し、衆参両院共に保革伯仲が生じ厳しい流動の時代を迎えるに至り、一方で新旧交代が鮮明にされた選挙としても注目すべきものがあります。この背景が今後如何なる方向に推移するか、神社人としても留意が必要と存じます。

さて本会では、昨年新執行部誕生後、会員諸兄

の活発な参加と尽力をいただき、四国ブロック研修会参加、初の裸練成金の開催、祭典勤務奉仕、研修旅行等の活動にてその成果を挙げ、又恒例の初詣ポスターを製作して県内各社にお届けし、御活用願えたものと確信しております。

更に本年度の中心事業である調査委員会の神社及び神職に関する調査を実施いたしましたところ、関係者各位の温い御協力を賜り、目標の七十名以上の回収率には今一歩及びませんが、現在六十三名の御回答をいただきました。紙上を借りて厚く御礼申し上げます。この調査結果は本会の方に留まらず、今後の神社界の貴重な資料になると期待いたしております。未回答の神職さんには今からでも結構です。是非御回答下さりませう御協力をお願い申し上げます。

お蔭をもちまして本年度の事業計画も順次消化し、会員相互の研鑽、親睦の輪も拡大しつつあります。今後も本会本来の目的に沿っての活動は勿論ですが、更に今日の混迷する世相に対応すべく、青年神職の使命を自覚し、青少年の教化育成、氏子崇敬者に神道思想を浸透し、鎮守の森が賑う森、心のふるさととして繁

栄することに意を尽し、実践しなければならぬと存じます。為に神道青年会の場を活用し、神職としての意識の向上に努めようではありませんか。

本年も会員諸兄の積極的な参加を期待し、先輩神職各位の御支援をお願いして年頭の御挨拶といたします

伊勢神宮へ

奉仕して

高繩社内・神青理事
松山北高勤務

正岡 重岩

今回の神宮への奉仕は私にとって大変大きな意義のあることでした。

神道青年会（神青）の会議の席上で曾我部さん（現神青会長）、長曾我部さん（現神青副会長）から、「行ってみてはどうか」といわれ、「それでは」と軽い気持ちで、神宮へ参りました。しかし、実際に奉仕をしてみて、想像していた以上の、いや予期しない事ばかりで、私にとって、神職の家に生まれた事の意味とか、天皇、神道等について、今まで以上の進んだ考え方をするようになって帰りました。

これは得に神宮の神の恵みであり

又愛媛県神社庁長を初め多くの先輩方のおかげと、感謝しております。奉仕の内容を簡単に申し上げますと、伊勢神宮の外宮(豊受大神宮)の新嘗祭の祭典に奉仕神職として参加する役でした。

大御殿 午前四時―同六時
奉幣 午前七時―同九時

暗がりの中を約三十人余りの神宮則の神官達に交り、勅使をも交しえ松火(たいまつ)を使用しての古式豊かな、厳肅な祭典でした。

神宮則の我々奉仕神職に対する扱いは大変丁重で、神宮祭式の図でもわかるように、ずい分と上座と思われるところに、我々の席が設けられていて、新嘗祭としては貴重な場面と思われる神饌を供える時など、正殿(最も奥の御神体の坐すところ)のすぐ前に我々は位置して、その様子もつぶさに見ることが出来、あたかも検分役のような配置であったことなど地方から来た、いわば田舎神職の我々に、どうしようもない感激を与えました。

又、祭式の中での玉串奉典が象徴的に示しているように、素朴で、簡素な動きは私の性に合い神宮のすばらしさを体験しました。

今回の神宮奉仕は私を大きく変え

た。それまで、理論的に神道、天皇神職等について、すでに整理はされていたが、感覚的には少し不安なところがあつた。

私は複雑な日本の気候、風土の中で自然に則して、主として農業に従事してきた人々の考え、生活、文化信仰等、日本的なものはずべて神道的なものとして考えて来た。そして今神宮の森で、祭典に参加して、これらを象徴的に示しているのが、太古の昔より一日も欠くことのなかった神宮祭式であることを実感した。

天皇制の問題にしても、この祭式がなぞをといてくれる。先にも述べたが、天皇の使い(勅使)は、どの位置が上座かは知らないが、我々田舎神職とあまり変わらない場所に同じような事をしながら、坐している。祭主も、大宮司も、宮掌も然りである。これは原始共同体農業国の祭りの再現である。みんなが同じ神の前に、同じくそれぞれの生産した新米を供えるのである。そこにはすべてが一体となった姿がある。

長い歴史の中で、日本国が大きく変化して来た過程には、必ず天皇がクローズアップされている。天皇の御威光のもとに、又信仰のもとに錦の御旗云々である。勝てば官軍であ

る。その根底には、天皇は民衆のことであり、非差別の象徴である。だから天皇にそむくことは民にそむくことであり、滅びゆくものである。

私はどちらかというところ、経験主義的人生を歩みたいし、出来るだけそのように生きて来たつもりである。

観念主義的立場をどちらかというところ、年配の方々とは異なるようになる。過去の知識が、道徳が、どうしても頭(観念)の中に存在していて、どうしようもないようである。しかし、例はよくないかも知れないが人生は一人に一度であり、みすみす隣りの美女に求愛もせず、頭の中だけで、悩み、疲れ、年を取ってしまったといってみても、どうしようもないことぐらいいは誰でも知っているはずだ。

このことについても神宮祭式は答えを出していた。迷わず目的にむかって進む。こまごまとしたことは心をかさない。勅使の前だろうと、大宮司の前だろうと大またで急いで目的を果す。

人生は、矛盾した二つの正しいだろうものにつかる場合がある。その時の選択が人生を決定するといっても過言ではない。近代人はいや現代人は迷い悩み、孤独になり、絶望する。しかしそれをのり越えて生き

ていかなくはならない。日本流のことばに武運とかいうことばがあるが、私はそんな時はこの武運にするのが一番すばらしい生き方だと思う。これは将に神道的生き方であるう。

若い神主家の子弟達よ、神宮にはいろいろな私達を導くものがあることを知り、体験していこうではないか。又神道青年会の中にはすばらしい人材が、うごめいている。お互いに近所、隣りの者さそい合せて、年に何度もあるはずではないので、神道青年会に出席してほしい。

最後に、神社庁、神青連の今後増々の発展をお祈り申し上げて筆をおきます。

(昭和五十一年十二月九日)

県神青実施

調査報告

▼好成績で回収▲

先に実施した「神社と神職に関する調査」は、県下神職四六七人宛に回答依頼を行ったが、三一七人六七・九名の回答を得、集計が期待される事となった。

回答項目の多い事と非常に立入っ

た調査である事とで低回収率が予想される一方、六〇〇程度は回収しなくては集計データの信頼性が低下し、調査そのものが失敗に終る可能性もあり、回収率目標を六〇〇に置き達成に全力をあげる計画であったが、督促のお願い状を一度差出しただけで七〇〇に近い回収率に達した事は回答者各位の御理解と御協力によるものと衷心より感謝する次第である。

従って今回の調査では県下の実動神職の大半の御回答が得られたものと考えられる。が一方未回答の神職神社、それに今回の調査から漏れた大半の兼務社の部分に今迄表面に出ていない実情が埋れていて、本当はそうゆう処にこの調査の必要性があるようにも思える。

支部別に回収率を見ると、低い支部は、伊予三島八人中一人回収一三〇、東予九人中三人回収で三三〇、北条一人中三人で二七〇、周桑一人中九人で四七〇、河南九人中四人で四四〇、南宇和七人中三人で四三〇と十人前後の少人数支部が目立つ。一方高率支部は、西条八五〇、大島一〇〇〇、川之江九〇〇、蒼社一〇〇〇、野間一〇〇〇、忽那八二〇、小田八〇〇、伊予八一〇、宇和

海九〇〇と西条と伊予を除けばやはり十人前後の支部であった。

この事のみで判断する事は早計で推察の域を出ないが、少人数支部の運営の為の示唆に富むものではないかと考えられる。

なお、本調査の集計と分折は逐次行っていくが、膨大な調査の為中間報告として各調査項目に就き単純なる集計を行い、本報告として各項目組合せ分折や、他の関係調査比較等の報告を予定している。終りに調査等と言う事は初体験であり実施して種々の不備や失敗に次々と気付き深く反省させられ、同時に回答者の方々に申訳なく存する次第である。

文責 調査委員長 星野暢広

調査回答回収状況

支部名	依頼数	回収数	未回収数	回収率
川之江	一五	九	一	九〇
伊予三島	一三八	一〇九	七	一三
宇摩	一三	九	四	六九
新居浜	一七	一〇	七	五九
西条	二〇	一七	三	八五
東予	一九	一三	六	六三
周桑	一九	一三	六	六三
河南	一九	一三	六	六三
蒼社	一七	一四	三	八二
今治	一五	一〇	五	六七

支部名	依頼数	回収数	未回収数	回収率
野間	一一	一一	〇	一〇〇
大島	一一	一一	〇	一〇〇
伯方上島	一一	一一	〇	一〇〇
大三島	一一	一一	〇	一〇〇
北条	一一	一一	〇	一〇〇
忽那	一一	一一	〇	一〇〇
松山	一一	一一	〇	一〇〇
伊予	一一	一一	〇	一〇〇
久万	一一	一一	〇	一〇〇
小田	一一	一一	〇	一〇〇
喜多郡	一一	一一	〇	一〇〇
大州	一一	一一	〇	一〇〇
八幡浜	一一	一一	〇	一〇〇
宇和山	一一	一一	〇	一〇〇
宇和海	一一	一一	〇	一〇〇
南宇和	一一	一一	〇	一〇〇
西宇和	一一	一一	〇	一〇〇
宇和島	一一	一一	〇	一〇〇
北宇和	一一	一一	〇	一〇〇
合計	四六七	三七七	一五〇	八〇九

北九州地方

神社参拝

研修旅行報告

昭和五十一年度教化委員事業計画案により、十一月二十日、二十一日

両日、北九州地方神社参拝視察研修旅行が実施されました。

参加人員十名と少人数ではありましたが、車三台にそれぞれ分乗し、晩秋の中、宇佐八幡宮、宗像大社、宮地獄神社、香椎宮、宮崎宮、大宰府天満宮と参拝、視察を行った。

二日間で六社といささか強行ではありましたが、各神社の特色をいかした神社運営、教化への質疑応答、また施設や神社宝物殿の中でも必見すべき宗像神社の宝物殿の見学など真に有意義な研修旅行でした。

今年の研修旅行には一人でも多くの会員諸兄の参加を望みます。そして今の時代に即した刺激を得ようではありませんか。



研修旅行収支決算

愛媛県神道青年会

収入の部 単位 円

1.研修会費(30,000円×10人)	300,000
収入合計	300,000

支出の部

1.玉串料(10,000円×5社)	50,000
2.運賃	87,780
3.自動車御礼(3台分)	30,000
4.有料道路代(2台分)	400
5.ガソリン代(3台分)	11,150
6.柿代	600
7.食事代(3回分)	13,750
8.宿泊料(6,000円×10人)	60,000
9.懇親会費	27,321
10.旅行センター御土産代	1,800
11.写真代(1,000円×2人)	2,000
12.通信費(電話代)	200
13.会費振込手数料	280
支出合計	285,281

収入合計	300,000
支出合計	285,281
差引剰余金 (神道青年会々々計へ寄付)	14,719

南予ブロック会報告

去る十一月二十七日、はやばやと南予ブロック会の忘年会を八幡浜にて開催した。参加者十名が水たきを囲んで和気あいあいの内に今年の反省、又来年の飛躍を誓って大いに飲み、かつ喋った。

神道青年会も新会長の下、一致団結して神社の興隆と会員相互の親睦を計るべく、やはり各ブロック単位の会を催し出席できる機会をおおくし、たら良いと言う事になった。

恒例の新年互礼会は宇和島にて開催するので、泊まりがけのつもりで会員諸兄の多数の参加を望む次第である。

以上

東予ブロック会報告

東予ブロック会では十二月十二日新居浜にて忘年会を開催した。

参加者七名が大きな粗料理と水たきを前に舌鼓を打ちつつ、今年一年の反省と来る昭和五十二年度の抱負に話しは夜遅くまで続いた。

また新会員の浅海さん(波方)も見えられ、今後の活躍を誓い合った。

私の近況

西宇和郡三瓶町蔵貫 三島神社禰宜

菅原 真文

神青会の皆さん、こんにちは。小生、神職の資格を得て今年で七年

になりますが、町役場を兼務のため奉務が留守がちで今日に至っております。今年の三月には、待望の二世が誕生し、これからは真剣に神明奉仕に取り組みなければと考えております。これを機に、極力神青会の行事に参加させていただきたく、その節はよろしくご指導の程お願い致します。

西条市洲之内 橋新宮神社禰宜

高橋 照子

私の奉務神社は、氏子が三百数十軒の小さな、しかも二重氏子なので色々大変です。今は父が万事をしてくださるので、私は時々手伝いをする程度です。しかし、子供も長男が一年生で末の子も四才になり手も離れましたので、今からは色々勉強を始めたいと思っておりますのでどうぞよろしく願います。

伊予郡双海町 三島神社禰宜

大内 慶和

誠実とは、自分の心に対して、まことである事である。この世の中で他の人の生活をねたみ己ばかり苦勞していると考えがちである。人のことは表面しかわからない。もう一度己のまわりをみ廻し、すべてが穴だらけであることがわかれば自分の

心をたたきなおそうではないか。

周桑郡丹原町高知 高知八幡神社禰宜

宮原 直幸

私、現在本務一社、兼務五社を奉仕しております。副業として、花木の栽培等を行っており普段は地下足袋姿でも神職には見えませんがまた機会があれば、皆様と会っている御指導、勉強させて頂きたく存じます。

編集後記

「大きく脹らむ夢、夢、夢…」こんな宣伝文句が有ったが、我が神青にはいささか身につまされる思いがある。夢は大きく脹らんでも現在の財政貧乏状態ではいかにせん。まして今年は何国ブロック研修会の当番でもある。去年の高知の様に先輩、会員が一丸となって成功させただけに、切に願っています。

▼そういえば、その一選として今年がソフトボール大会を予定しているが、どんな診プレーが出るか？選手諸氏は今から自主トレに入っている？でないか、またまた二、三日、拝なのに小損しかできなくなりそうです。(池内)